

スカウト兵庫

2016

No.1

11



特集

第18回兵庫連盟合同野営大会
(Hyocam2016、HHAC2016)

“野営技能の向上と班活動の充実をめざして”

ビーバーまつり特集

“尼崎地区、阪神さくら地区、神戸垂水地区、姫路地区”

地区紹介

“尼崎地区、阪神北地区、西播地区”

第18回兵庫連盟合同野営大会

Hyocam2016 HHAC2016

8月3日から7日（HHAC2016は7月31日から）、
 宍粟市一宮町にある、ろくろしの森キャンプ場に、約860名のスカウト、指導者、スカウト関係者が集いました。



“野営技能の向上と 班活動の充実をめざして”

県合同野営大会に参加したスカウトのみなさん、暑い中での大会となりましたが、最後まで元気に野営生活をよく頑張りました。キャンプ場に到着したときには、不安でいっぱいだった表情も、帰るときにはとてもたくましく勇敢なスカウトの顔になっていました。ろくろしの森キャンプ場は、季節によって全く違う素晴らしいロケーションを見せてくれます。夏以外にもキャンプ場を利用してください。さらに工夫をした野営生活を体験してみてください。

大会実行委員長 西播地区委員長 讃岐 等

大会期間 平成28年8月3日～7日、HHAC2016：7月31日～8月7日
 会場 宍粟市一宮町 ろくろしの森キャンプ場
 参加人数 860名
 テーマ “野営技能の向上と班活動の充実をめざして”

本大会で、ボーイ部門は、スカウト運動の根幹である、班を基本とした隊活動の展開を通して活動の更なる充実を図る。自然豊かな野営地の中で工夫に満ちた野営生活を楽しみ、たくましく冒険心にとんだプログラムに挑戦し、県下スカウトとの交流を促進する。ベンチャー部門は、氷ノ山を頂点とする周辺山岳に展開される高度な野外活動、HHAC2016を実施し、ハイアドベンチャー活動を展開する。

主催 日本ボーイスカウト兵庫連盟
 後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、兵庫県西播磨県民局、公益財団法人兵庫県青少年本部、宍粟市、宍粟市教育委員会、一宮町東公文自治会・森林組合、一般財団法人兵庫県ボーイスカウト振興会



閉会式・スカウト代表の言葉

姫路第16団 藤原 弥侑（ふじわら みゆ）
 姫路第18団 関 亜華里（せき あかり）



皆さん、この4日間 楽しめましたか？

私は、8月3日の開会式の時には いよいよ始まるのかという不安とワクワクした気持ちでいっぱいでした。

又、私たち姫路隊の少なさ、そして他の地区の方々の多さに圧倒され5日間本当に大丈夫だろうかという不安がありました。しかし、いざ始まってみると本当に楽しい思い出をたくさん作ることができました。4日の班旗立て競争では、班員全員で協力し決勝に進むこともでき、本当に嬉しかったです。

5日の夜には、はりま1隊の方々とキャンプファイヤーを合同でさせていただき、大変盛り上がり、楽しむことができました。また、本日のハイキングでは暑い中でしたが、普段の活動ではなかなかできないような色々なゲームを盛り込んでいただき楽しいハイキングができました。今回の県合同野営では、色々なことを学び、他の地区の方々との交流を通じて、新しい仲間を増やすことができました。本当にスカウト活動のすばらしさを知ることができたように思います。今後は、今回の県合同野営で学んだこと・経験したことを、スカウト活動、学校生活などにも活かしていきたいと思います。最後になりましたが、今回の県合同野営におきまして、裏方で私たちを支えてくださった方々、そして、各隊の指導者の方々、本当にありがとうございました。

そして、この素晴らしいキャンプ地、ろくろしの森 ありがとう。

ボーイスカウトらしさ

初めての派遣隊隊長として尼崎第1隊から参加させて頂きました。今回の合同野営では班制教育に基づくボーイスカウトらしい野営を目指すという、各隊が活動されていたかと思います。原隊では2班しかなく、片方の班で欠席者が多いと班制教育が実施しにくいという課題のある中、派遣隊では3班からなる隊活動が実施でき、私も楽しませて頂きました。今後はこの経験を生かし、原隊も3班以上で活動できるようスカウティングに励みたく思います。

尼崎第1隊隊長
 尼崎第14団 藤原 健資



高いモチベーションを維持

今回の参加隊編成に際して、スカウトのスケジュールがなかなか合わない中、それでもスケジュールをやりくりして教科書通りに集会、訓練を計画・実施して本番に臨みました。結果、大会終了後のスカウトからのアンケートでの反応は軒並み良好でした。モチベーションが向上したスカウトや、自発的に PDCA が実践できているスカウトが多く見受けられ、野外を教場とした活動であることを実感しました。特に自団においては9月から班長、次長となるスカウト、ベンチャーとなるスカウトが、上進に際してきちんと自覚を持つまでに成長し、例年以上に高いモチベーションでスムーズに9月以降の活動を実施できていることは大きな成果であったと思います。

神戸第3隊隊長

神戸第58団 松永 博之



優秀班の喜びと感動

私の班は兵キャンの訓練キャンプで対決をするといつも最下位で何をしても終わるのは最後でした。私は他の班の班長に比べて学年も級も下です。私は1位の取れないこの班で活動をしていて本当に班員のみんが楽しめているのが心配でした。それでも、班員のみんが頑張ってくれて神戸地区の料理対決では神戸3隊として優勝することができました。そしてキャンプ終了後に班員に感想を聞くと笑顔で『楽しかった』と答えてくれたので良かったです。

神戸第3隊ペンギン班班長

神戸第31団 坂田 夢生



HHAC2016 風の鷲章授与式



多くのスカウトに、この感動を

出発前のスカウトたちの顔には不安感が出ていましたが、6日間の移動キャンプを終えロクロシにゴールした時には、へトヘトに疲れていたものの、表情は満足感や、やり遂げた感があふれ出ていました。HHACはトレッキングだけでなく、筏製作による渡湖や、サーチ&レスキュー、ウォータージャンプ、奉仕活動なども含まれており、つらく苦しい挑戦の中にも、楽しいメリハリの付いたプログラムになっていました。スカウトたちは、数々の大きな体験を成し遂げ、評価反省の時に、前向きな言葉が出てきたことは、彼らが大きく成長した証だと感じました。多くのスカウトに、この感動を是非味わってほしいです。

風の鷲本部事務局

尼崎地区副コミッショナー 東 美恵



さらなる高みへ

同野営に参加したスカウトの皆さん、ろくろしの森の自然の中で、長期の野営を満喫できたことと思います。遠くまでの水汲みや荷物運びなど、野営は不便でしたが、不便を楽しめましたか？ つらかったですか？ 楽しむレベルに達するには、技能を高めて、班の活動を十分に行い、工夫で乗り切る余裕を持つことが必要です。スカウティングに打ち込んでください。そこで得たものは、大人になったときに生きてきます。さらなる高みへ、弥栄。

野営本部長

県連盟コミッショナー 森地 一夫





ビーバーまつり特集



尼崎地区

『ビーバーランドの101ビーバー』

6月12日(日) 尼崎市・大物公園

梅雨空もよりの6月12日の日曜日、国道2号線沿いの尼崎大物公園に於いてビーバーまつりが実施されました。曇り空にも関わらずビーバースカウト55名、地域を含む体験者56名で計111名もの子供たちが一同に集まりました。各団持ち寄りのゲームコーナーとホスト団である7団の準備したアスレチックコーナーや工作コーナーなど15か所をリーダーを先導役に、子供たちと保護者は楽しく廻りました。公園内の芝生広場に全員集合してのパレード(アトラクション)、全員ジャンケンでの缶バッチ争奪戦、面白いソングの合唱、7団カブ・ボーイによるスカウト技能の演技披露などで大いに盛り上がりました。



春誕生の新キャラクターの命名発表が行われ「シカボン」の名付け親となったビーバースカウトが表彰されました。



阪神さくら地区

『ビバリンピックで金メダル!』

4月29日(金・祝) 県立甲山森林公園



4月29日に、県立甲山森林公園で、22回目を迎えるビーバーまつりが開催されました。ビーバースカウト100名、体験参加者55名が参加し、夏に開催されたオリンピックにちなんだ競技に参加しました。その競技は、水風船を投げる砲丸投げや、ゴムひもハードル走、聖火リレーなど、全5種目!! 参加者は、金メダルを目指し、みんなで力を合わせて頑張りました。



垂水地区

『垂水地区ビーバーまつり』

5月29日(日) アジュール舞子



5月29日、「垂水地区ビーバーまつり」を明石海峡大橋を一望できる砂浜「アジュール舞子」で開催しました。スカウト38名、一般参加者(見学)12名と指導者21名、総勢70名で大きな輪でのセレモニーから始まりました。ビーバースカウトたちは、いつも元気に走りまわっています。この日も驚くほど元気なスカウトたちに、リーダーも元気をもらいました。



恒例の綱引き大会は、エキシビジョンとしてスカウト対大人のこれまた真剣勝負となりました。保護者の方々が参加することで、親子対決となり楽しむことができました。

ビーバースカウトで作る明石海峡大橋は、見た目にも楽しく思いがけないほど立派な大橋ができました。

砂の造形では、テーマに沿って、アイデアやスケールの大きさでお母さんも真剣勝負です。一生懸命水汲みをするスカウトも微笑ましいものでした。

姫路地区

『世界を知ろう』

6月5日(日) 姫路市立置塩公民館



世界地図で各国の場所を調べ、食べ物、文化の学習をして、姫路在住のベトナム青年にベトナム料理を作って頂いて、みんなでおいしく食べました。



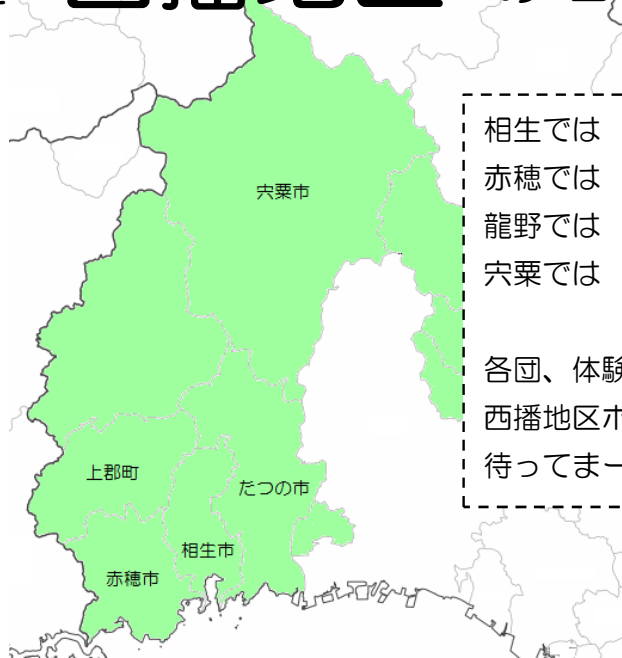
ようこそ 西播地区 のコーナーへ

皆さん こんにちは！
西播地区です！

現在、私たちの地区には

- 相生第4団
- 赤穂第1団
- 上郡第1団
- 宍粟第1団
- 宍粟第3団
- 龍野第1団

の 6つの団があります。



相生では ペーロン乗船体験が、
赤穂では 塩づくり体験が、
龍野では お城で甲冑を着ることができ、
宍粟では 昆虫採集ができます。

各団、体験についてのお問い合わせは
西播地区ホームページで見てください。
待ってまーす！



阪神北地区



阪神北地区は伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・篠山市・猪名川町の5市1町にあるボーイスカウト団で構成されています。都市部から田園地帯まで幅広い地域で活動しています。

9月22日に阪神北地区の振興大会を猪名川町総合公園(ふれあい公園)で開催しました。シンボルマークは猪名川町のマスコット「いなぼう」です。式典では福田猪名川町長にご祝辞を頂き、今年度の表彰者・菊章/隼章の紹介とともに、今年度デビューしたマスコットキャラクター「かぶべえ」が出演しました。式典後はビーバー・カブ・ボーイ・ベンチャーに分かれてゲームや競技を行いました。



尼崎地区たより

尼崎地区は今年地区結成65周年となります。9月1日に市内の中小企業センター大ホールで記念式典を挙行了しました。尼崎地区協議会名誉会長でもある稲村尼崎市長をはじめ多数の来賓の方々をお迎えし、スカウト関係者は二渡地区協議会長、木村地区委員長を筆頭に地区役員を含む先輩スカウト、現役スカウトと指導者、保護者等々総勢約400名が集いました。周年の「弥栄」を唱え、記念式典スローガンである『スカウトの輪をひろげよう』をみんなで決意を新たにしました。



挨拶する木村地区委員長



挨拶される稲村尼崎市長



国旗掲揚と連盟旗、地区旗



兵庫連盟 第23回カブラリー



開催日：11月6日（日）
場 所：須磨海浜公園、須磨浦公園
及び周辺
テーマ：「ジャングル・ブック」
～ウルフ・カブのチャレンジ～

兵庫県内のカブスカウトが一同に集まってポイントラリーを行います。会場周辺の須磨浦公園は日本のカブスカウト発祥の地として知られ、ウルフカブ像があります。組のなかまと協力して日ごろの力を発揮しよう!!!



カブラリー

兵庫連盟運動史



須磨向上会ウルフ・カブと古田誠一郎隊長

大正12年（1923）12月には、当時の神戸市長石橋為之助氏の要請により、須磨にて古田誠一郎氏による、日本で初めてのウルフ・カブ「須磨向上会ウルフ・カブ」を組織し活動が始まった。

引用：兵庫連盟運動史 ポーイスカウト兵庫連盟創立60周年記念より

平成28年度 富士・隼・菊章
取得者を紹介します



富士章
1月1日～現在

- 西宮第10団 橋本 真衣
- 西宮第22団 政所 重智
- 神戸第57団 村上 昌義
- 神戸第58団 松永 慶太郎
- 尼崎第14団 木下 秀平
- 西宮第10団 チャオ岡田 直美
- 西宮第3団 山田 開



隼章
4月1日～現在

- 西宮第13団 松井 良太
- 西宮第13団 露崎 悠介
- 西宮第10団 加地 祐仁
- 西宮第25団 赤松 佑香
- 伊丹第3団 古谷 拓実
- 伊丹第3団 古谷 智実
- 加古川第2団 三輪 麟太郎
- 西宮第3団 今村 迅



菊章
4月1日～現在

- 神戸第15団 山本 頼綱
- 伊丹第10団 内田 壮
- 龍野第1団 桐谷 陸
- 小野第1団 小東 利久都
- 西宮第3団 松原 功樹
- 西宮第3団 木下 悠
- 西宮第10団 加地 慧一
- 西宮第13団 畑田 一茶
- 神戸第54団 佐藤 恵里菜
- 神戸第58団 箱崎 光毅
- 神戸第58団 遠藤 聡一郎
- 神戸第70団 今井 徹郎
- 宝塚第1団 今北 怜典
- 宝塚第1団 植村 晴
- 神戸第31団 中西 希実
- 姫路第18団 関 亜華里

受章スカウトの皆さん、本当におめでとうございます。努力の積み重ねに心から敬意を表します。さて、スカウトハンドブックには、それぞれの章(級)に対して定められた「理想とするスカウト像」が書かれています。ぜひ読み返し、自分の現状を理想像と比較してください。まだまだ山の頂は遠くにありますか？章の着用は、理想に至る道の「真のスタートライン」、これからが本番です。章の重さと誇りを感じながら、スカウト活動に一層励まれることを祈念し、お祝いと励ましの言葉といたします。

スカウト委員長 中村 正寿

「全国防災キャラバン」 開催

災害に備えスカウトスキル楽しく学ぶ
9月19日(祝・月)イオンモール神戸北



スカウト活動のスキルを地域の皆さんに伝え、もしもの時に役立ててもらおう・・・と、ロープ結び「もやい結び」「本結び」や応急処置で身近にあるものを利用して「担架づくり」「腕を釣る方法を阪神北と神戸地区の指導者・ボーイ・ベンチャー・ローバスカウトが指導、三ー五名が参加、楽しく体験してもらいました。(組織拡充委員会)



【事務局ニュース】

◇第12回日本アグーナリーへの派遣

8月12日(金)～16日(火)に静岡県立富士山麓山の村で開催。3ヶ隊(尼崎25団22名、神戸77団4名、神戸60団2名)28名と本部要員24名が参加。

◇富士特別野営への派遣

8月16日(火)～22日(月)に日本連盟山中野営場で開催。ベンチャースカウト(西宮3団、西宮10団、西宮13団)の3名が参加。

◇全国防災キャラバンの実施

9月19日(祝)にイオンモール神戸北で開催、県連盟組織拡充委員会が担当、神戸地区(神戸60団)、阪神北地区(三田1団)が中心になり実施。

◇海外派遣の実施

オーストラリア短期留学に2名、韓日スカウトフォーラムに1名、韓国ジャンボリーに1名を派遣、国際交流としては尼崎地区が台湾を訪問。

◇スカウトの日の奉仕活動

各団の活動結果を、日本連盟のHPへ報告をお願いします。

◇第18回合同野営評価反省会の開催

9月22日に合同野営大会の評価反省会がANAクラウンプラザホテルにて開催。66名が参加、運営面や活動面等について忌憚のない意見交換がなされた。

編集後記

△パソコン知識、デザイン・レイアウトスキルが皆無の私は本誌作成にあたって足手まといでした反省。

(尼崎地区 加藤正巳)

△今回「下文化」の多様性の急激な進行を肌で感じさせられた。書式等決めていても修正が必須。「人と人」となればなおさらか・・・。

(西播地区 加野泰裕)

△載せたい写真が多すぎて選択に困りました。載らなかった方済みません！

(阪神北地区 市田久八)

お知らせ

季刊誌の表紙に使うタイトルとロゴを募集致します。年内までに事務局までデータでお送りください。詳しくは、各地区組織拡充委員まで

発行元 日本ボーイスカウト兵庫連盟 <http://www.bs-hyogo.gr.jp/>

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 兵庫県民会館8階

電話 078-333-1781 発行責任者 組織拡充委員会 委員長 黒田 茂